

安曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

1	会議名	第2回 安曇野市男女共同参画推進審議会（第7期）
2	日時	令和3年3月29日（月）午後1時30分～午後3時
3	会場	安曇野市役所 4階 大会議室
4	出席者	川上委員、久保田委員、佐々木委員、望月委員、倉科委員、高橋委員、高井委員、布山委員、小林委員、鈴木委員、秋山委員、西村委員、等々力委員、尾碁委員、小野委員（欠席者：二木委員、竹田委員）
5	担当課出席者	金井部長、平倉課長、大場主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年4月9日
協 議 事 項 等		
<p><b>【協議事項】</b></p> <p>1 開 会</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1） 第3次安曇野市男女共同参画計画の進捗状況について</p> <p>① 「男女共同参画社会」という言葉の周知度</p> <p>② 市の管理・監督職員に占める女性職員の割合について</p> <p>③ DVカード配布による啓発について</p> <p>④ 外国人住民の文化の理解と交流促進について</p> <p>（2） その他</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p> <p><b>【会議概要】</b></p> <p>3 協議事項</p> <p><b>【要旨・主な意見】</b></p> <p>（1） 第3次安曇野市男女共同参画計画の進捗状況について</p> <p>事務局 「男女共同参画社会」という言葉の周知度、市の管理・監督職員に占める女性職員の割合、DVカード配布による啓発、外国人住民の文化の理解と交流促進について説明</p> <p>委員 質疑応答なし</p> <p>（2） その他</p> <p>会長 生涯を通じた学習機関の充実では市の全体の取り組みで、あらゆる機関で連携を取らなければうまくいかないということで、生涯学習課、学校教育課、その他と連携の強化が大事になる。次年度の計画では連携強化を強くお願いしたい。</p> <p>特定事業主行動計画を（令和）2年度末で終了することから新たに策定したとあるが、2年度の実施の成果、課題は何だったか。</p>		

事務局 令和2年度の状況として、採用した職員に占める女性職員の割合が、事務職では52.2%で半数以上になっている。正規職員の採用状況については、新しく職員を採用するにあたって半分以上が女性となっている。管理職の女性職員の割合については課長職以上の割合は全体で60人中4人となっており、6.7%となっている。ここは男性職員との割合と大きく差が出ている。

各役職段階の女性職員の割合は、部長職は男性92.3%に対し女性は7.7%、課長職は93.6%の男性の割合に対し女性6.4%。課長補佐、係長職は男性70.5%、女性29.5%で全体として、男性76.9%、女性23.1%となっている。

委員 安曇野市での外国人住民の比率が1233人1.3%、松本市が一番多く、3973人1.7%、塩尻市が1284人1.9%、で制度が変わってきているいろいろな形で入ってきて、住まわれている。日本語交流委員養成講座について伺いたい。

事務局 講座については、外国籍の住民の方が共に市民として地域づくりに参画できるよう多様性を理解しあい、地域の多文化共生の推進に貢献できる人材を養成することを目的として行われている。

今年度は日本語交流員養成講座、全3回開催。1回目は多文化コミュニケーションについて、異文化理解とは何かを学ぶ講座。

2回目の講座は、やさしい日本語についてワークをしながら自分たちが普段使っている言葉が、外国の方には理解しにくいことなどを学習し、実際に体験して学習し、実際の支援につながる講座。

3回目の講座はファシリテーションのスキルとコツを学ぶ講座。これら3回の講座によって多文化共生の知識と支援の実践力の向上をして多文化共生を推進できる人材を育成する機会となった。参加者については、1回目の講座が15名、2回目の講座が13名、3回目の講座が12名。

#### 4 その他

事務局 次回審議会開催時期について

7月を予定

一同 了解